



病状説明について考えよう 思春期の子どもへの治療に向き合うプロセス

日時 【オンデマンド】 2026年 3月 7日（土）～ 15日（日）

対象 看護学生・教員・医療従事者

プログラム 45分間のオンデマンド配信

子どもへの病状説明のあり方について一緒に考えてみませんか。思春期がん患者の病状説明の経験と治療に向き合うプロセスを質的に研究しました。その結果についてあらためて当事者様と一緒に考えていこうと思います。



論文の紹介



Experiences of receiving explanations about medical conditions among adolescent children with cancer: A qualitative study
EJC PAEDIATRIC ONCOLOGY (2026)

思春期にがんの診断を受けた患児の、医療従事者および保護者からの病状説明を受けた経験を調査し、説明を受けた後における思春期がん患児の治療への取り組み方の軌跡を明らかにすることを目的とした質的研究です。

AYA世代 って・・・？

Adolescent and Young Adult（思春期・若年成人）の頭文字をとったもの。主に思春期（15歳～）から30歳代までの世代のことです

サバイバーシップ って・・・？

がんと診断されてから、生存期間の長短にかかわらず、そのすべての過程と、関わる家族や介護者、友人をも含みます。がんの治療を終了したらそれで医療は終わりということではなく、がんサバイバーの生活や人生にも配慮した医療やヘルスケアを提供することが求められています。

お申込方法

下のQRコードから
お申し込みください



締切

3月13日（金）

*お申込みいただきましたら 1週間以内に研究室より申込受付メールをお送りいたします。
メールアドレスを入力の際にはお間違えの無いようお願い申し上げます。

大阪大学大学院 小児・家族看護学研究室

当教室では 研究会や公開講座 教室活動の発信をFacebookで行っております
他の研究会情報等 ご興味がある方は左のQRコードを読み込んでください

